

平成28年度
せきやど図書館及び関宿コミュニティ会館指定管理者管理運営状況調査
担当課 興風図書館

評価基準	評価項目	指定管理者 自己評価	担当課評価	特記事項
利用者の平等利用が確保されること	①平等利用確保への取組	B	B	
	②児童、障がい者、高齢者への配慮	B	B	
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	①利用促進に向けた取組	B	B	
	②地域の特性を活かした取組	B	B	
	③児童・青少年層への読書普及のための取組	B	B	
	④レファレンス・サービス充実のための取組	B	B	
	⑤サービス向上のための取組	B	B	
	⑥自主事業等の取組	C	C	自主事業として、いちいのホール1階に利用者用の複写機を設置しようとしたが、電気料計測の問題や機器のトラブル等管理面が行き届かないおそれがあるため、設置を断念したものです。
個人情報の適切な保護が図られていること	①個人情報保護のための取組	B	B	
緊急時の危機管理体制が確立されていること	①施設の安全管理、緊急時の危機管理のための取組	B	B	
	②要望、苦情への取組	B	B	
現金の取扱い等の経理処理が適切に行われていること	①現金の取扱い等の経理処理について	B	B	
管理経費の縮減が図られるものであること	①指定管理に係る経費の収支見込について	B	B	
	②経費縮減のための取組	B	B	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際し、地元業者へ配慮されていること	①地元住民の雇用及び地元業者への配慮	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	①人員配置について	B	B	
	②職員の指揮監督・管理体制について	B	B	
	③人材育成の取組	B	B	

総合所見

指定期間の3年目となる平成28年度は、各種の利用促進に向けた取組や、児童、青少年層への読書普及のための取組を通じて利用促進に努めましたが、図書館の利用状況は平成28年12月末時点の前年同月比で貸出冊数が4,021冊、約4.5%減少しています。

関宿地域の人口は平成29年1月1日時点で比較すると、1年前より429人減、この3年間では1,267人の減少となっており、ベースとなるエリア人口の減少傾向が続いている中、インターネットや携帯端末、電子書籍等の普及による情報取得手段（メディア利用形態）の多様化の影響により、貸出冊数増減のベースとなる利用登録者が、平成28年12月末時点の前年同月比で-305人（約4.5%減）と減少していることに加え、平成28年11月24日の降雪の影響を受けて、11月の一箇月の貸出冊数が前年同月比で-2,021冊（約20.1%減）と大きく減少したことが原因として考えられます。

エリア人口が減少している状況下で、利用率を向上させるのは難しいところもありますが、各種の読書普及の取組を通じて今後一層の利用促進に努めてもらいたい。

また、コミュニティ会館の利用状況は、平成28年12月末の時点において、利用件数が前年同月比で77件（約9.2%）の増となっていますが、利用人数は333人（約2.5%）の減少となっており、利用者数がやや減っているため、更なる利用促進に努めてもらいたい。

各評価項目については、自主事業等の取組をC、それ以外についてはBと自己評価しています。

自己評価がCであった自主事業については、いちいのホール1階フロアに有料の複写機を設置して利用者の利便性向上を図ろうとしましたが、1階フロアを管轄している関宿支所へ複写機の設置について相談したところ、電気料金の計測方法の問題があり、また設置場所が図書館・コミュニティ会館とは別のフロアで離れており、複写機のトラブルの対処など管理が行き届かないおそれがあるため、相談を取り下げて設置を断念したものです。

「指定管理者が施設の設置目的を達成するため、本施設を活用し自己の責任と経費において、イベントやそれに付随する販売などを実施する」という自主事業の本旨を考えると、管理上の問題が発生するおそれがあるのに敢えて自主事業を実施することまでは求めてはならず、実施するための検討・調整を試みた結果であるので、抜本的な業務改善が必要な状態であるとまでは言えないことから、担当課としてもCと評価いたしました。

それ以外の評価項目はすべてBと自己評価していますが、利用促進や読書普及を目的として、おはなし会やブックスタート、図書館子どもまつり、せきやどシネマフェスタ、「ぬいぐるみおとまり会」、調べる学習支援講座、読書感想文講座、夏休み子ども読書スタンプラリー、科学教室、「本のせんたくもの」、「本の福袋」、小学生を対象とした「図書館学校」など数多くの事業を実施し、今後も「関宿歴史講座」や「せきやど出前寄席」、「育児支援講座」などの事業を予定しています。

また、昨年度は実施に至らなかった保育園児を対象とした「図書館学校」についても、3月に実施を予定しており、未実施事業や代替事業もなく、おおむね提案された事業計画のとおりに行われていることから、担当課としてもBと評価いたします。

なお、地域の文化団体である関宿文化連盟が主催する文化祭開催の際には、小ホールの舞台設備機器利用のサポートを行い、円滑な進行に協力を行うとともに、隣接する関宿中央公民館まつりの開催の際にも、舞台設備機器利用のサポートを行い進行に協力するなど、仕様書や提案事業にない取組として、地域の文化的なイベントへ裏方的に貢献し地域文化向上に寄与していることは評価できます。

公契約条例に基づく賃金の確保については、平成28年11月5日に指定管理者より提出されました年度中間期の労働者支払賃金報告書、賃金台帳の写し、給与等の支払明細書の写しにより、対象となる業務従事者全員について最低賃金以上の賃金が支払われていることを確認いたしました。

なお、年度の業務報告書提出時にも労働者支払賃金報告書が提出されますので確認をいたします。

人員配置、研修、施設の保守点検については、業務計画書のとおり実施されており、仕様書の水準を満たしていると認めます。

経費の収支見込は、収入が支出をやや上回っており、601円の余剰金が生じる見込みですが、仕様書の要求水準を満たす業務が適正に行われており、収支状況は妥当なものと評価いたします。

また、指定管理者である株式会社図書館流通センターは、損益計算書によると営業利益、経常利益、純利益ともに黒字となっており、経営基盤は安定しているものと評価いたします。

総合所見として、図書館及びコミュニティ会館の利用が減少傾向にあるものの、利用促進に向けた取組が行われており、全般的にはおおむね適正に管理運営が行われていると評価いたします。

次年度も引き続き指定管理者としてサービス向上に努めてもらいたい。